

友愛ネット

津山市立津山東中学校
令和 8 年 9 月 18 日
No.7



学校教育目標 地域とともに創る、笑顔があり元気な学校

～他者とのつながりを大切にし、自ら学び、行動する、じりつ（自立、自律）した生徒の育成～

全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組みについて

今年度 4 月に本校の 3 年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果概要がまとまりました。この調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導の充実や学習環境の改善に役てることを目的としています。

本校の結果について、「学力に関する調査」と「生徒質問紙調査（学習習慣・生活習慣・意識）」の 2 つの側面から分析・検証いたしましたのでお知らせいたします。なお、個別の成績表は近日中に返却いたしますので、自分の改善点を知る手がかりにしていただければと思います。



1. 学力に関する調査結果（国語・数学・英語）

学年	教科	平均正答率（※数値の単位は％）			
		本校	岡山県	全国	全国との差
3 年生	国語	60.0	65.0	63.9	▲3.9
	数学	51.0	57.0	57.0	▲6.0
	英語	2.8問／7 問	3.6問／7 問	3.7問／7 問	▲0.9問

【各教科の成果と今後の課題】

国語 ○成果：言葉の特徴や使い方、漢字等の「知識・技能」に関する問題や選択式問題では、着実な定着が見られました（選択式正答率 69.1％）。

▲課題：文章の内容を深く読み取る問題や、自分の考えを根拠とともに文章でまとめる「記述式問題（正答率 39.6％）」に課題が残りました。最後まで諦めずに書き切る粘り強さを高める必要があります。

数学 ○成果：計算や基本的な計算式を扱う「数と式」の領域（正答率 65.1％）では良好な結果となりました。

▲課題：「図形（41.6％）」や「データの活用（44.2％）」の領域、および理由や解き方を言葉や式で説明する「記述式問題（34.8％）」において正答率が低下する傾向が見られました。

英語 ○成果：授業の中で端末を用いた英文作成や対話活動を積極的に行っており、ICT を活用した表現への抵抗感は少なくなっています。

▲課題：「聞くこと（平均 0.9 問）」「読むこと・書くこと（平均 1.9 問）」ともに全国・県平均を下回っており、音声を聞いて素早く理解する力や、長文を読み取る総合的な英語力の強化が必要です。

2. 生徒質問紙調査結果（学習習慣・生活習慣・意識）

生徒対象のアンケート調査からは、本校の生徒の健やかな成長と、今後の生活面での改善ポイントが明確になりました。

【本校生徒の強み・素晴らしい点】

○高い学校生活への満足感と意欲

「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒は **88.2%**（全国 85.4%）に上り、友人と協力して前向きに学校生活を送っています。

○学びを実生活に生かす意識の高さ

「授業で学んだことを実生活や次の学習に結びつけて考えている」生徒は **76.4%**（全国 66.8%）と高く、主体的・実践的な学びの姿勢が見られます。

○ICT（タブレット端末）の積極的な活用

「授業でほぼ毎日タブレットを活用している」割合は **89.9%**（全国 55.1%）に達しており、プレゼンテーション資料の作成や情報検索などの活用能力（85%以上が肯定）が飛躍的に高まっています。

【今後の改善が求められる点】

▲スマートフォン・動画視聴等の利用時間

平日（月～金）にスマホやゲーム、動画視聴等を「3 時間以上」行う生徒の割合が **62.4%**（全国 49.6%）と、全国平均より高くなっています。

▲家庭学習の時間の確保

平日の学校以外の学習時間が「2 時間以上」の生徒は **29.8%**（全国 52.7%）にとどまっており、自律的な学習習慣の定着が課題となっています。

3. 保護者の皆様へのお願い

学校での学びを確かなものにするためには、ご家庭での生活習慣の安定が不可欠です。ぜひ以下の点について、お子様とお話し合いの上、ご協力をお願いいたします。

【ご家庭でご協力いただきたいこと】

◆メディア利用ルールの見直し（ノーメディアタイムの設定）

夜間のスマホ・ゲーム等の利用時間を制限し、睡眠時間をしっかり確保できるよう、家庭でのルールづくりをお願いします。

◆計画的な家庭学習習慣の定着

「毎日決まった時間に机に向かう」習慣づくりや、学校の宿題にプラスした自主学習への温かい声かけ・サポートをお願いいたします。

今後も教職員一丸となって生徒一人ひとりの学力向上と豊かな心の育成に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

